



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野寺 香一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清水 貴雄 TEL 03-3269-5111  
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月5日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	11,972	3.2	819	20.3	931	13.9	651	△15.7
2025年3月期中間期	11,595	5.6	681	40.8	817	36.1	772	72.7

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 911百万円 (63.9%) 2025年3月期中間期 556百万円 (△45.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	148.33	—
2025年3月期中間期	174.05	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	34,577	25,100	70.1	5,524.29
2025年3月期	33,384	24,279	70.2	5,341.87

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 24,251百万円 2025年3月期 23,450百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年3月期	—	20.00			
2026年3月期（予想）			—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	2.9	1,330	△3.5	1,540	△5.3	1,200	△9.1	273.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	4,450,000株	2025年3月期	4,450,000株
2026年3月期中間期	59,994株	2025年3月期	59,994株
2026年3月期中間期	4,390,006株	2025年3月期中間期	4,440,016株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	10
(追加情報の注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における当社グループの経営成績は主力のクラフト紙袋の販売数量が国内と海外ともに伸び悩みましたが連結売上高は11,972百万円で前年同期に比して376百万円の増収でした。営業利益819百万円(前年同期比138百万円の増益)、経常利益931百万円(同113百万円の増益)および親会社株主に帰属する中間純利益651百万円(同121百万円の減益)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋の業界全体の当中間連結会計期間出荷数量(ゴミ袋を除く)は、前年同期比1.0%の減少となりました。米麦、飼料、化学薬品、セメントの用途が大きく減少した他、その他食品、その他鉱産物、合成樹脂の用途が減少しました。農水産物、砂糖、その他の用途は前年同期の数量を上回りました。重包装袋の主原材料であるクラフト紙の価格は、原燃料費の上昇に加え、物流費や労務費の増加などコストの全般的な上昇が影響し、値上がりした後は高止まりしています。

当社の売上数量は前年同期比1.6%の減少となりました。合成樹脂、化学薬品の用途は、業界の傾向に反して増加に転じましたが、業界の傾向と同じく米麦の用途が大きく減少した他、その他鉱産物やその他の用途が減少しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、塩用途及び米麦の用途にて大きく減少となりましたが、他用途での増注があり、全体では前年同期から0.5%の微減となりました。タイ昭和パックス㈱の当中間連結会計期間(1～6月)は、タイ及び周辺諸国の経済減速により、売上数量は対前年比6.1%の減少となりました。山陰製袋工業㈱の当中間連結会計期間(1～6月)は、飼料の用途で減少し、売上数量は前年同期比1.0%の減少となりました。

当セグメントの当中間連結会計期間売上高は7,814百万円で前年同期に対して2.9%の増収となりました。

#### ○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当中間連結会計期間の出荷量は、前年同期から産業用、農業用ともに減少となりました。主原材料であるポリエチレン樹脂の価格は、原料ナフサの価格が弱含みで推移した一方、物流費や労務費などの諸経費上昇が続いたことから、高水準を維持しています。

当社の売上数量は、産業用で増加、農業用で減少し、合計では前年同期比0.1%の微減となりました。産業用では、マスキングフィルム「HQF」、アスベスト隔離シート、パレットストレッチ用フィルム「エスラップ」、熱収縮包装フィルム「エスタイト」、ポリスチレンフィルム「エスクレア」は増加しましたが、一般広幅フィルムは減少しました。農業用では、ハウスフィルム「フルーツ物語」「キリヨケバーナル」は増加しましたが、牧草ストレッチフィルム、農サクビは減少しました。

当セグメントの当中間連結会計期間売上高は2,048百万円で前年同期に対して3.7%の増収となりました。

#### ○コンテナ

フレキシブルコンテナの業界の当中間連結会計期間の出荷量は、国内生産品と海外生産品を合わせると、飼料の用途は前年並みでありましたが、他の用途においては軒並み前年を下回りました。とりわけ化学工業品、食品、合成樹脂の用途は大きく減少しました。全体で前年同期から大幅減少となり、海外からの輸入量全体は前年から大幅減少となりました。

当社のフレキシブルコンテナ「エルコン」の売上数量は、前年同期比15.6%の減少でした。液体輸送用1,000Lポリエチレンバッグ「エスキューブ」は、新規用途での採用が進み前年同期比47.5%の増加となりました。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」は、前年同期比33.0%の減少でした。

当セグメントの当中間連結会計期間売上高は1,057百万円で前年同期に対して5.5%の減収となりました。

#### ○不動産賃貸

前連結会計年度中に新規の賃貸契約があり、当セグメントの当中間連結会計期間売上高は125百万円で前年同期に対して13百万円の増収となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## 1) 資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当社グループの当中間連結会計期間末総資産は34,577百万円で、前連結会計年度末に比べて1,193百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金425百万円、建設仮勘定185百万円および投資有価証券866百万円です。主な減少要因は原材料及び貯蔵品113百万円です。

## (負債)

負債合計は9,477百万円で、前連結会計年度末に比べて371百万円増加しました。主な増加要因は電子記録債務186百万円および繰延税金負債224百万円です。主な減少要因は営業外電子記録債務263百万円です。

## (純資産)

純資産合計は25,100百万円で、前連結会計年度末に比べて821百万円増加しました。主な増加要因は利益剰余金563百万円およびその他有価証券評価差額金514百万円です。主な減少要因は為替換算調整勘定235百万円です。

## 2) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて384百万円増加して7,964百万円となりました。当中間連結会計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,413百万円(前年同期比234百万円の収入増)となりました。主な内訳は税金等調整前中間純利益922百万円、減価償却費362百万円および仕入債務の増加220百万円です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は842百万円(同375百万円の支出減)となりました。主な内訳は定期預金の預入による支出と払戻による収入の差額90百万円、有形固定資産の取得による支出632百万円および投資有価証券の取得による支出112百万円です。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は80百万円(同30百万円の支出減)です。主に配当金の支払額による支出87百万円および長期借入れによる収入30百万円です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収で経常利益は増益となりましたが、親会社株主に帰属する中間純利益は前期の投資有価証券売却益が影響して減益の結果となりました。販売数量は国内と海外ともに伸び悩みました。コスト面では賃上げや高止まりする諸経費などにより利益を圧迫しています。第3四半期以降は引き続き販売数量の伸長、採算の確保、諸経費の抑制に努めて利益を確保してまいります。当連結会計年度(2025年4月1日～2026年3月31日)通期の業績見通しにつきましては、現状では当初の予想(2025年5月12日発表)を変更せず、連結売上高24,000百万円、連結経常利益1,540百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円を見込みます。

なお、連結子会社である㈱ネスコにおいて、同社の取引先に対する債権につき期日が経過しても売掛金が入金されない事態となり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じております。詳細は添付資料P.10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(追加情報の注記)」をご覧ください。当該損失の見込額が算定できた時点で速やかにお知らせいたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,943,586	9,369,116
受取手形及び売掛金	6,308,855	6,397,750
電子記録債権	980,961	955,377
商品及び製品	1,346,559	1,363,820
仕掛品	186,762	161,478
原材料及び貯蔵品	1,525,233	1,411,302
その他	325,050	275,037
貸倒引当金	△356,313	△355,213
流動資産合計	19,260,696	19,578,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,536,298	9,540,434
減価償却累計額	△6,748,824	△6,814,286
建物及び構築物(純額)	2,787,474	2,726,148
機械装置及び運搬具	11,860,940	11,765,828
減価償却累計額	△10,129,099	△10,098,904
機械装置及び運搬具(純額)	1,731,841	1,666,923
土地	958,414	948,676
建設仮勘定	257,774	443,076
その他	929,209	938,476
減価償却累計額	△822,593	△831,718
その他(純額)	106,615	106,757
有形固定資産合計	5,842,120	5,891,583
無形固定資産		
ソフトウェア	241,044	209,459
無形固定資産合計	241,044	209,459
投資その他の資産		
投資有価証券	5,806,011	6,672,076
退職給付に係る資産	1,500,729	1,500,086
繰延税金資産	65,303	71,757
その他	676,918	662,206
貸倒引当金	△8,300	△8,300
投資その他の資産合計	8,040,662	8,897,826
固定資産合計	14,123,826	14,998,868
資産合計	33,384,523	34,577,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,935,672	2,960,052
電子記録債務	1,166,713	1,352,903
短期借入金	1,179,214	1,174,414
未払法人税等	328,254	268,546
賞与引当金	418,049	424,959
設備関係支払手形	1,265	902
営業外電子記録債務	367,529	103,984
その他	678,343	904,295
流動負債合計	7,075,041	7,190,056
固定負債		
長期借入金	31,171	49,172
繰延税金負債	1,598,640	1,822,950
役員退職慰労引当金	62,349	70,116
退職給付に係る負債	169,180	176,158
資産除去債務	4,395	4,395
長期預り保証金	163,832	163,832
その他	704	429
固定負債合計	2,030,273	2,287,053
負債合計	9,105,314	9,477,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	17,979,321	18,542,680
自己株式	△108,553	△108,553
株主資本合計	18,801,113	19,364,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,525,984	3,040,882
為替換算調整勘定	1,383,341	1,147,698
退職給付に係る調整累計額	740,411	698,615
その他の包括利益累計額合計	4,649,737	4,887,197
非支配株主持分	828,356	848,757
純資産合計	24,279,208	25,100,428
負債純資産合計	33,384,523	34,577,538

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	11,595,711	11,972,419
売上原価	9,588,260	9,776,740
売上総利益	2,007,451	2,195,679
販売費及び一般管理費	1,326,340	1,376,091
営業利益	681,111	819,588
営業外収益		
受取利息	12,519	19,386
受取配当金	91,561	99,779
為替差益	31,567	—
その他	7,995	7,242
営業外収益合計	143,643	126,408
営業外費用		
支払利息	5,423	9,153
為替差損	—	5,061
その他	1,921	456
営業外費用合計	7,345	14,671
経常利益	817,409	931,325
特別利益		
投資有価証券売却益	255,231	—
特別利益合計	255,231	—
特別損失		
固定資産除却損	628	8,844
特別損失合計	628	8,844
税金等調整前中間純利益	1,072,012	922,480
法人税、住民税及び事業税	239,413	224,652
法人税等調整額	1,143	△2,304
法人税等合計	240,556	222,347
中間純利益	831,455	700,132
非支配株主に帰属する中間純利益	58,672	48,973
親会社株主に帰属する中間純利益	772,783	651,159



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	831,455	700,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△511,644	515,258
為替換算調整勘定	274,475	△261,825
退職給付に係る調整額	△37,991	△41,795
その他の包括利益合計	△275,159	211,636
中間包括利益	556,295	911,769
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	470,351	888,618
非支配株主に係る中間包括利益	85,943	23,151

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,072,012	922,480
減価償却費	315,231	362,709
長期前払費用償却額	160	163
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,196	△962
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,871	6,909
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,034	23,694
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△7,936	△12,253
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,008	7,766
受取利息及び受取配当金	△104,081	△119,166
支払利息	5,423	9,153
固定資産除却損	628	8,089
投資有価証券売却損益(△は益)	△255,231	—
売上債権の増減額(△は増加)	233,551	△90,806
棚卸資産の増減額(△は増加)	268,376	75,819
仕入債務の増減額(△は減少)	△137,841	220,251
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	△54,761	△61,032
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△12,925	51,814
その他の流動負債の増減額(△は減少)	17,679	169,422
その他	38,080	14,095
小計	1,330,325	1,588,149
利息及び配当金の受取額	104,081	119,166
利息の支払額	△6,487	△11,337
法人税等の支払額	△248,305	△282,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,179,613	1,413,722
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,516,065	△827,424
定期預金の払戻による収入	520,756	736,516
有形固定資産の取得による支出	△467,877	△632,282
無形固定資産の取得による支出	△33,070	△6,809
投資有価証券の取得による支出	△10,840	△112,111
投資有価証券の売却による収入	289,004	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,218,092	△842,112

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,996	△10,800
長期借入れによる収入	-	30,000
長期借入金の返済による支出	△5,499	△5,999
配当金の支払額	△88,800	△87,800
非支配株主への配当金の支払額	△2,749	△2,749
自己株式の取得による支出	△62	-
その他	△3,768	△3,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,877	△80,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	124,842	△106,437
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△24,513	384,797
現金及び現金同等物の期首残高	7,947,016	7,579,493
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,922,502	7,964,291

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報の注記)

(債権の取立不能または取立遅延のおそれについて)

当社の連結子会社である㈱ネスコ(以下「ネスコ」)において、ネスコが納入した原材料を使用して製造した当該取引先の製品に不具合が発生したことを理由とする支払留保の通知があり、期日が経過しても売掛金が入金されない事態となりました。ネスコは製品不具合の詳細説明を求めるとともに、取引基本契約に基づき支払の履行を求める催告を行いました。当該の原材料のみならずすべての売掛金について支払がなされない状態が続き、取立不能または取立遅延のおそれが生じております。当中間連結会計期間末の売掛債権残高381,755千円の取立不能または取立遅延のおそれのある対象債権の回収のためにネスコは当該取引先を相手とした訴訟を2022年12月に提起しました。現在も係争継続中ですが、引き続き当該取引先に対し支払義務の履行を求めていきます。

なお、当該売掛債権は一定期間弁済がないため内規に基づき貸倒引当金を流動資産に計上しております。

(連結子会社の吸収合併について)

当社は、2025年3月25日開催の取締役会において、当社を吸収合併存続会社、当社の完全子会社である山陰パックス㈱(以下「山陰パックス」といいます。)を吸収合併消滅会社とする吸収合併(以下「本合併」といいます。)を行うことを決議し、同日付で、山陰パックスとの間で吸収合併契約を締結いたしました。

1. 本合併の目的

山陰パックスは、当社グループにおいてクラフト紙袋関連資材の販売を展開してまいりましたが、今般、組織の一体化により、意思決定の迅速化・浸透を図るとともに、経営資源の集中と効率化を進めることを目的として、吸収合併することといたしました。

2. 本合併の要旨

(1) 本合併の日程

合併契約承認取締役会決議日	2025年3月25日
合併契約締結日	2025年3月25日
合併契約承認時株主総会開催日	2025年6月27日
合併予定日(効力発生日)	2026年1月1日(予定)

(注) 本合併は、山陰パックスにおいては会社法第784条第1項に規定する略式合併に該当するため、当社において合併契約の承認に関する株主総会の承認を得ることなく行います。

(2) 本合併の方式

当社を存続会社、山陰パックスを消滅会社とする吸収合併の方式により、山陰パックスは解散いたします。

(3) 本合併に係る割当ての内容

当社と完全子会社との吸収合併であることから、本合併による株式その他金銭等の割当てはありません。

(4) 本合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

## 3. 吸収合併消滅会社の概要

(1) 名称	山陰パック有限会社
(2) 所在地	島根県出雲市斐川町富村1337番地1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 古田 修一
(4) 事業内容	クラフト紙袋関連資材の販売
(5) 資本金	3百万円
(6) 設立年月日	1983年5月17日
(7) 発行済株式数	2,000株
(8) 決算期	12月
(9) 大株主及び持株比率 (2025年9月30日現在)	昭和パックス(株) 100%
(10) 直近事業年度の財政状態および経営成績	
決算期	2024年12月期
純資産	257,010千円
総資産	314,403千円
1株当たり純資産	128,505.41円
売上高	64,648千円
営業利益	1,931千円
経常利益	34,938千円
当期純利益	30,787千円
1株当たり当期純利益	15,393.95円

## 4. 合併後の状況

本合併による当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

## 5. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	7,595,525	1,975,448	1,119,909	-	10,690,883	793,037	11,483,920
その他の収益	-	-	-	111,791	111,791	-	111,791
外部顧客に対する売上高	7,595,525	1,975,448	1,119,909	111,791	10,802,674	793,037	11,595,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,595,525	1,975,448	1,119,909	111,791	10,802,674	793,037	11,595,711
セグメント利益	635,167	60,976	28,279	58,469	782,893	115,159	898,052

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	782,893
「その他」の区分の利益	115,159
全社費用(注)	△216,941
中間連結損益計算書の営業利益	681,111

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	7,814,191	2,048,060	1,057,962	—	10,920,214	926,754	11,846,969
その他の収益	—	—	—	125,450	125,450	—	125,450
外部顧客に対する売上高	7,814,191	2,048,060	1,057,962	125,450	11,045,665	926,754	11,972,419
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,814,191	2,048,060	1,057,962	125,450	11,045,665	926,754	11,972,419
セグメント利益	692,454	118,871	29,226	70,197	910,749	118,077	1,028,827

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	910,749
「その他」の区分の利益	118,077
全社費用(注)	△209,239
中間連結損益計算書の営業利益	819,588

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。